

事業所における自己評価結果 放課後等デイサービス (公表)

事業所名: 多機能型事業所 いすみ・ぷれも

公表: 令和2年5月14日

令和元年12月4日～令和2年1月11日実施 回収率92.3% 12/13

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	10	1	1	・基準は満たしているがグループの時などもう少し広いスペースをと考えているので今後パーティションを広げる工夫をする。
	②	職員の配置数は適切であるか	11	1		・基準は満たしているが、需要にあわせて専門指導員を募集している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	3		・子どもが2階への上り下りをする際は、大人が手をつないで行うこととしている。
業務改善	④	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	12			・朝礼で連絡事項を伝えあうことや定期的なケース会議を行い支援の目的や方法と改善を共有しPDCAを実施している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	12			・療育についての具体的なアンケートを調査を行い、療育等を改善し組み立てている。
	⑥	この自己評価の結果を、事務所の会報やホームページ等に公開している	11	1		・事業所ホームページに、自己評価を公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	12			・年2回第三者委員会を開催し、受けた提案や意見を職員と検討し業務改善につなげている。
	⑧	職員の配置数は適切であるか。資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	11	1		・外部講師による研修や内部の専門による指導を受けて、職員の専門的な知識の習得に努めている。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後デイサービス計画を作成しているか	12			・支援計画は利用者に関わっている全ての指導者とケース会議を開き、保護者へ報告し児童支援管理者が作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールをしようしているか	12			・wisc-ivや新版K式発達検査s-s法等の標準化されたアセスメントツールを使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	11	1		・子どもの長期目的達成に向けて療育を行うために支援チームで年間プログラムを作成している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	12			・子どもの発達状態に応じて、常にPDSDを繰り返し子どもに合った療育をしている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	11	1		・長期休みにはイベントを組む等、子どもの生活に根ざした課題を設定している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜くみあわせて放課後等デイサービス計画を作成している	12			・子どもの発達にあわせて補正しながら、常に工夫している。また、保護者の声も常に伺っている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	10	1	1	・充実した支援を行うために、療育の間の空き時間や職員の打ち合わせで療育内容を話し合い療育の準備の時間で確認している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ずうちあわせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	11	1		・支援終了後に支援者で支援の振り返りを行い次の支援に生かせるようにしている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	12			・記録は毎日療育終了後に行っている。 ・記録には支援の検証改善を記入し次の指導に生かしている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	12			・年2回以上のモニタリングを行い、支援計画の見直しをしている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	12			・その子どもにとって必要な基本活動の複数の組み合わせでの支援を行っている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	12			・学校、保育所等のケース会議には、管理者・担当指導員等が参画している。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切におこなっているか	12			・送迎は行っていない。利用者の出欠、遅刻等の連絡は、適切に行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連携体制を整えているか	10	1	1	・現在は医療的ケアの必要な子どもは支援していない。受け入れる場合には、主治医や関係機関との連携体制は整えている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解につとめているか	12			・現在は医療的ケアや重症心身障害のある子どもは受け入れていないが、地域の教育機関等との連携体制は整えている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供等しているか	9	2	1	・小学校とは、児童、生徒の支援内容等を提供して情報共有し相互理解をしている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	9	2	1	・積極的に、外部の専門研修なども受講している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会はあるか	11		1	・子どもは通常学校に通学し、幼稚園や保育園等を卒園している。事業所外で交流がある方が多い。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	12			・地域自立支援協議会等へ積極的に参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状態や課題について共通理解を持っているか	12			・子どもの療育時以外でも、面談や書面などで保護者と共有理解を持つようにしている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援をおこなっている	12			・日々の様子を共有をする中で、保護者の悩みや課題に寄り添うようにしている。また、令和2年度からペアレント・トレーニングを予定である。
保護者への説明責任等	⑳	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	12			・契約時に全て説明し、療育的な活動方針も伝えている。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援をしている	11	1		・事業所で対応もしくは電話での対応体制を整備しているほか必要に応じて面接する時間も設けている。申し入れにも職員間で発生原因と改善策を共有し迅速に対応している。
	㉒	父母会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援をしている	12			・保護者会は、年に2回開催し保護者の要望の改善につなげている。また自己紹介をする等、保護者同士の連携できるように努めている。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12			・苦情が発生した時には、職員間で発生原因と改善策を共有し、迅速に対応している。
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	12			・月1回 ”いすみ・ぶれもだより”を発行して保護者に配布している。
	㉕	個人情報に十分に注意しているか	12			・個人情報については十分に配慮している。
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	12			・子どもと保護者の行動状態から思いを読み取るようにしている。
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	11	1		・自治会に入会して会報だよりや避難訓練にも参加している。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点
非常時の 対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	12			・保護者会等の時に緊急マニュアル等を書面や図などで説明する機会を設ける。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出そのほか必要な訓練を行っているか	12			・定期的に月に1回職員対象の避難訓練を実施している。 ・今後は年間を通して、更に防災月間を設定し、災害について紙芝居などをして子ども達への勉強会なども行う。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	11	1		・虐待防止マニュアルを作成し、職員へ周知するとともに研修を実施している。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載しているか	11		1	・療育時は基本親子での参加になる。事業所独自の身体拘束は無い。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	12			・医師の指示書に基づき、個別で対応している。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	12			・ヒヤリハット用紙を作成し、毎週職員で情報共有し、事故防止を常に意識するようにしている。